

おきなわ彩発見キャンペーン（第4弾）の開始について

令和3年11月4日
文化観光スポーツ部 観光振興課

1. 概要

- 観光関連事業者の支援を目的として、国が都道府県の域内旅行需要喚起策に対して補助する「地域観光事業支援」について、R3.8.16付けで交付決定を受けている（約62億円）。
- 同補助金を活用して、「おきなわ彩発見キャンペーン（第4弾）」の開始に向けて準備を進めており、以下の手続を経て事業を開始する。

<手続き>

- (1) 11/4（木）庁議
- (2) 11/5（金）臨時議会招集告示、議会運営委員会
- (3) 11/8（月）議案説明会、質問通告〆切
- (4) 11/9（火）本会議、委員会

2. 事業実施スケジュール

- 本キャンペーンの実施に当たっては、「リバウンド防止と社会経済活動の両立期間（沖縄県対処方針）」をはじめ、各種感染防止対策の取組みとの整合を図りつつ、ワクチン接種・検査陰性証明（以下「ワクチン接種証明等」という。）を活用し、感染抑止を行いながら、段階的な経済回復を目指す。

<第1段階：同一島内の宿泊・旅行>

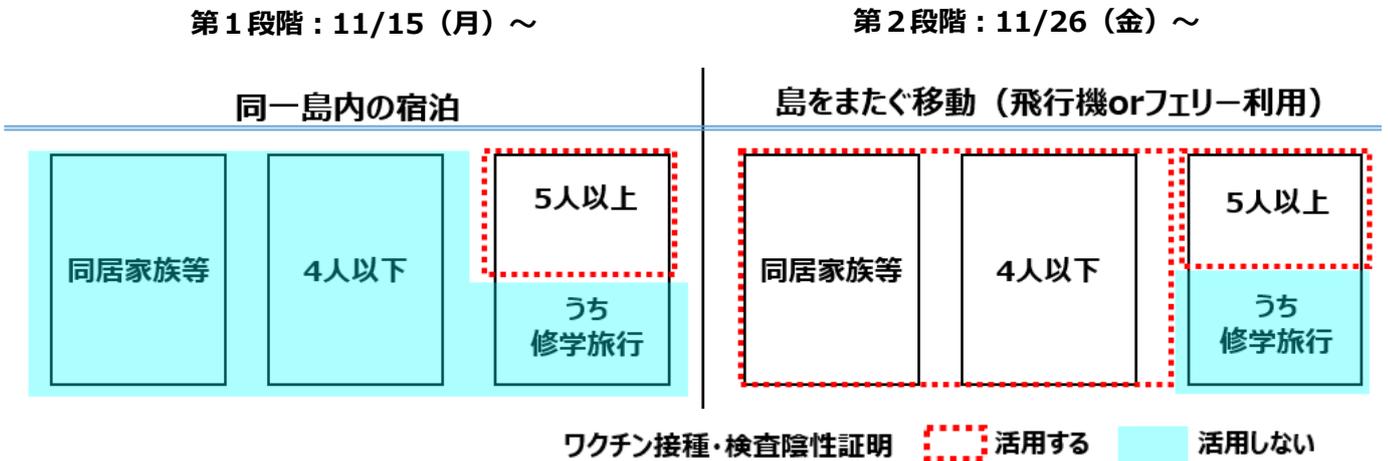
- | | |
|---|---|
| <ol style="list-style-type: none"> (1) 11/10（水） 事業開始のプレスリリース・記者会見（予定）
クーポン予約・販売開始 (2) 11/15（月） クーポン利用開始 | 1部屋5人以上の宿泊の場合は、
ワクチン接種証明等を活用（同居
家族、修学旅行を除く） |
|---|---|

<第2段階：島をまたぐ移動>

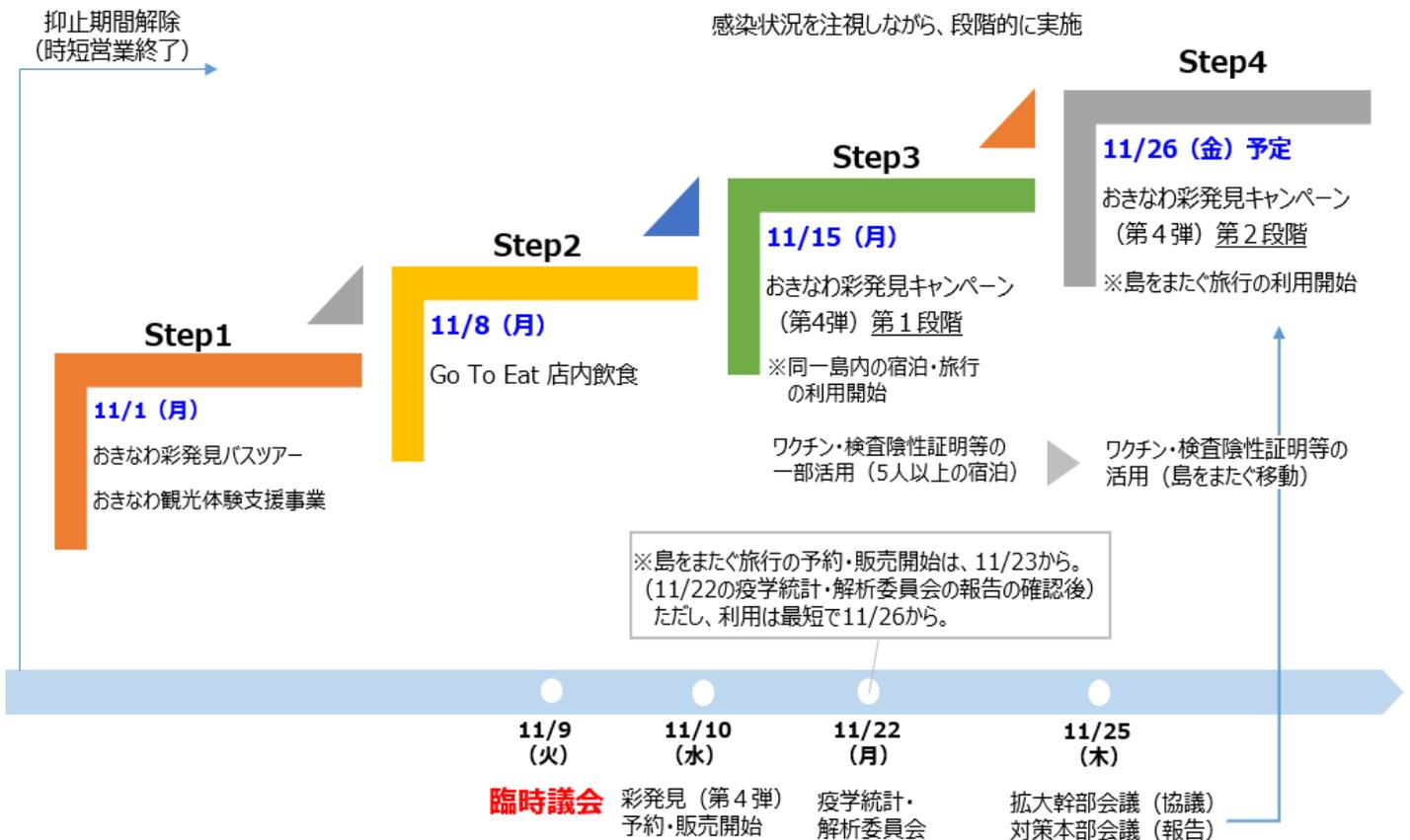
- | | |
|---|---------------------------------------|
| <ol style="list-style-type: none"> (3) 11/22（月） 疫学統計・解析委員会 (4) 11/25（木） 拡大幹部会議・対策本部会議 (5) 11/26（金） 島をまたぐ旅行の利用開始（予定） (6) 12/31（金） キャンペーン終了（予定） | 原則すべての旅行に対してワクチン接種証明
等を活用（修学旅行を除く） |
|---|---------------------------------------|

※感染状況が悪化した（ステージⅢ相当となることが危惧されると判断される）場合は、エリアを限定して、または、県全体のキャンペーンを停止する等、迅速かつ柔軟に対応する。

▼ワクチン接種・検査陰性証明の活用（整理）



▼感染抑止期間終了後の段階的な経済活動の再開



3. ステージ判断について

- 本県の医療提供体制等の状況は、第2回新型コロナウイルス感染症対策分科会（令和3年4月15日）の提言における「ステージ判断のための指標」のうち、入院率を除くすべての指標が、ステージⅢ相当の指標を大きく下回っている。
- このため、総合的にみてステージⅡ相当と判断しており、地域観光事業支援（おきなわ彩発見キャンペーン（第4弾））の実施基準を満たしている。

<別添資料3-1>

沖縄県「国と沖縄県の感染警戒レベル判断指標の比較（令和3年11月2日時点）」

国と沖縄県の感染警戒レベル判断指標の比較

国は令和2年8月7日付け事務連絡「今後の感染状況の変化に対応した対策の実施に関する指標及び目安について」で、指標及び目安を提示したが、これらの指標はあくまで目安であり、一つひとつの指標をもって機械的に判断するのではなく、総合的に判断して、感染状況に応じて積極的かつ機動的に対策を講じることとされている。

沖縄県判断指標			国判断指標			備考
1	療養者数	138人 第3段階	1	療養者数	9.29人 ステージI or II相当	○ステージIII 20人(292人)以上 ○ステージIV 30人(438人)以上
2	現時点:病床占有率	①実際に確保済みの病床数 5.0%	2	病床占有率	②確保病床数 2.1%	○各項目の定義 ①実際に確保済みの病床:各医療機関に確認し、本日時点の病床確保数 ②確保病床数:空床にしておく、あるいはすぐさまその病床で療養している患者を転床させる等により、コロナ患者の発生・受入れ要請があれば、即時患者受入れを行うことについて医療機関と調整している病床数 ○ステージIII ②確保病床使用率1/5以上 ○ステージIV ②確保病床使用率1/2以上
		11 / 221			11 / 534	
3	現時点:重症者用病床占有率	①実際に確保済みの病床数 0.0%	3	重症者用病床占有率(重症者(国基準)/確保済重症者用病床数(国基準))	②確保病床数 1.6%	ステージI or II相当
		0 / 16			1 / 63	
4	新規感染者数	58人 第3段階	4	新規感染者数	3.91人 ステージI or II相当	○ステージIII 15人(219人)以上 ○ステージIV 25人(365人)以上
5	感染経路不明な症例の割合	43.1% 第2段階	5	感染経路不明割合	43.1% ステージI or II相当	○ステージIII・IV 50%以上
6	新規PCR検査の陽性率	0.6% 第1段階	6	PCR陽性率	0.6% ステージI or II相当	○ステージIII 5%以上 ○ステージIV 10%以上
7	入院1週間以内の重症化率	0.0% 第1段階	7	入院率	8.0% ステージIV相当	○ステージIII 40%以下 ○ステージIV 25%以下
※ステージI又はステージIIに相当する数値は示されていない			参考 直近1週間と先週との比較	今週	先週	ステージI or II相当 ○ステージIII・IV 先週より増加
				58人	91人	

今後のワクチン接種の考え方について

1 ワクチン接種の必要性

8月に定めた基本方針において、「11月中に希望する全ての県民への接種を完了するため、10月末までに全人口の70%に当たる104万人以上への1回目の接種を目指す」こととなっている。

10月末時点では、100万2,439人、全人口の67.5%へ1回目の接種が実施され、目標には2.5%届いていない。

1日あたりの接種人数は、9月1週目の約9,000人から直近は約1,200人となっており、接種者が減少している状況等を勘案すると、現在希望している多くの方へ接種が行えたものと認識している。

一方、希望する全ての県民に接種するためには、70%の目標達成後も継続して接種体制を維持し、接種を行う必要がある。

2 今後の接種について

(1) 市町村においては、希望する全ての県民に接種するため、11月以降も個別接種を中心とした接種体制を継続し、接種を行うこととなっている。

(2) 県が設置している広域接種センターにおいては、10月末で一旦1回目の接種を終了したが、11月12日（金）から1回目の接種を再開したい。なお、期間は、11月末までとする。

12月以降については、引き続き市町村を補完し、モデルナワクチンの接種機会を提供する観点から、「モデルナセンター（仮称）」の設置を検討していく。

(3) 追加（3回目）接種については、国からの情報を踏まえ、市町村と連携し、取り組みを検討していく。

以上